

1. 研究課題名:D-1005 生態系サービスからみた森林劣化抑止プログラム(REDD)の改良提案とその実証研究

2. 研究代表者氏名及び所属:

奥田敏統
(広島大学)



3. 研究実施期間:平成22～24年度

4. 研究の趣旨・概要

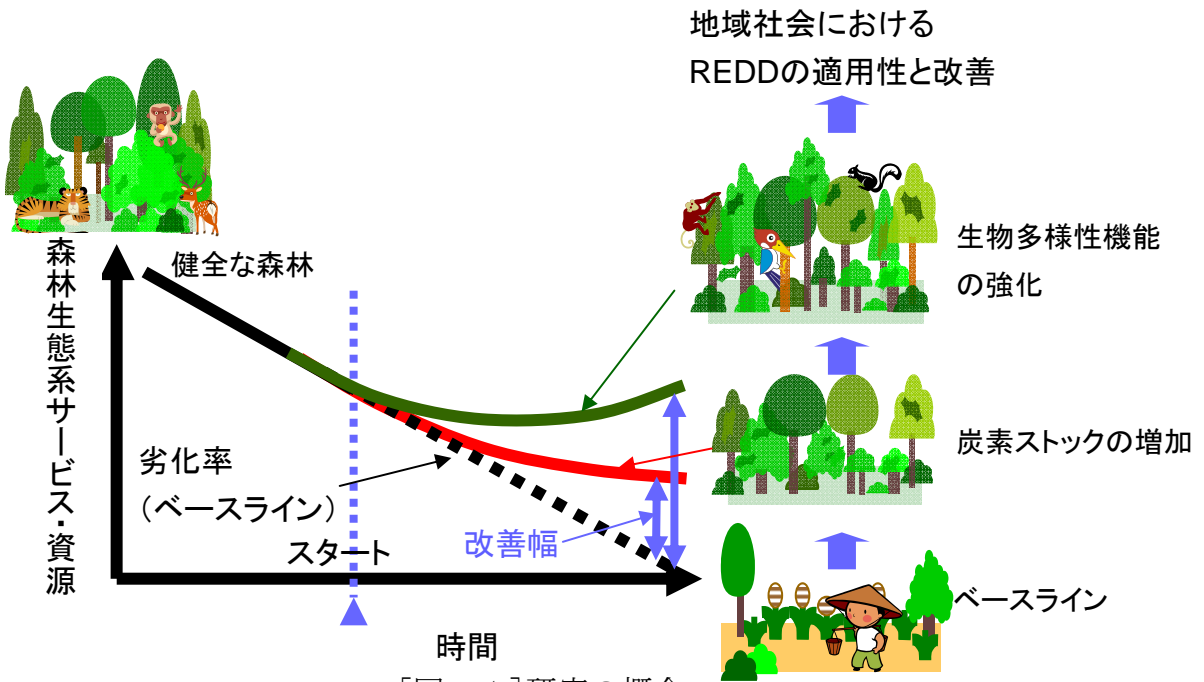
途上国における森林減少・劣化の防止による温室効果ガス排出削減対策(以下、REDDという。)が提唱され、温暖化対策として期待が高まっている。REDDでは「森林面積の減少」だけではなく「森林劣化」の抑止も対象とすることになっているが、その評価に関する研究はほとんど手つかずの状況である。このような背景から、従来のREDDの考え方に「保全や森林の持続的経営」「生物多様性」「炭素の貯留機能」「地域社会との接点」「流域保全」などの生態系サービスの強化を取り入れた新たな仕組みとそのため早急な研究の開始が強く求められている。本研究では、森林の機能をより高い次元に導くためのREDDの改良・改善を科学的視点から提案することを目的とする。それにより、生態系サービスを重視した新たなインセンティブメカニズムの構築が可能になる。

5. 研究項目及び実施体制

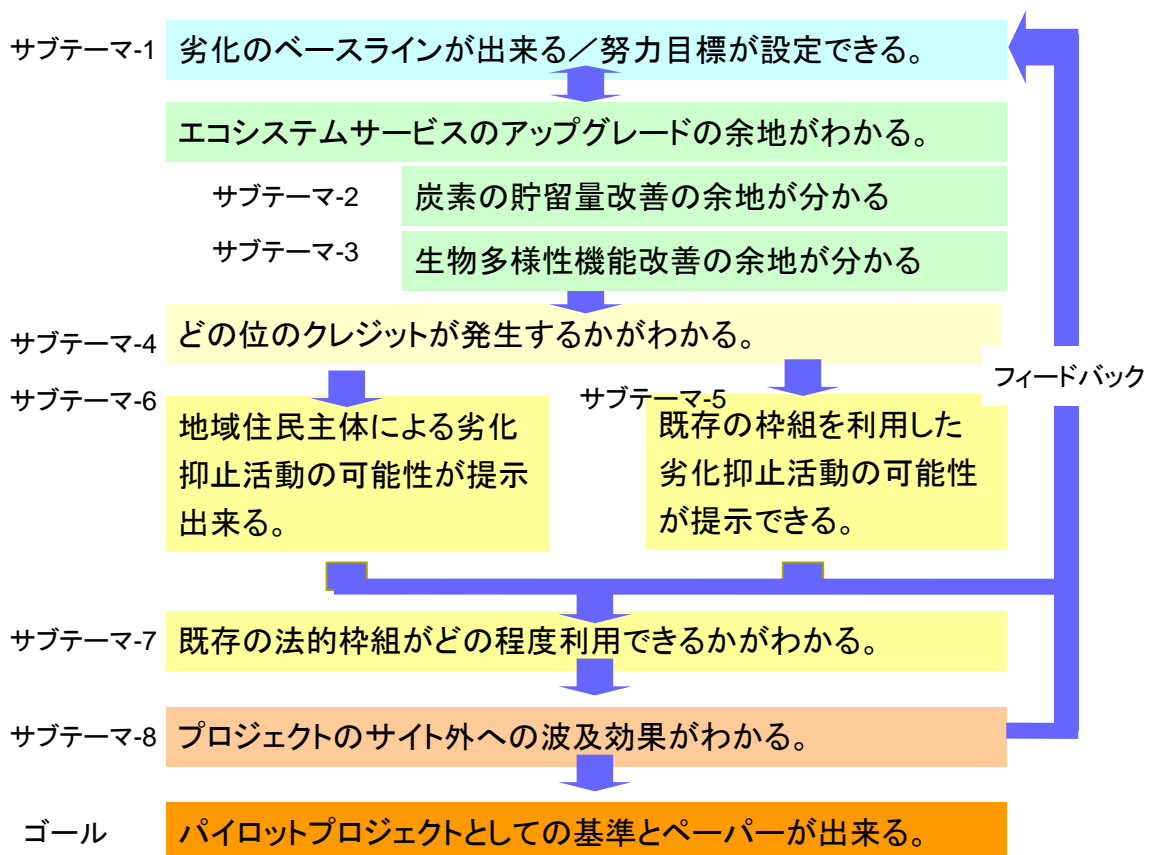
- ① 持続的森林経営評価による劣化抑止プログラムの改良策とその実現性に関する研究(鹿児島大学)
- ② 炭素ストックの強化による劣化抑止プログラムの改良策とその実現性に関する研究((独)国立環境研究所)
- ③ 森林の生物多様性評価による劣化抑止プログラムの改良策とその実現性に関する研究(広島大学)
- ④ 劣化抑止プログラムによる経済効果の分析およびクレジットの市場取引の可能性に関する検証(日本福祉大学)
- ⑤ 劣化抑止プログラムの導入にあたってのゾーニングとガバナンスに関する研究(共栄大学)
- ⑥ 劣化抑止プログラムの導入による地域社会への影響評価と住民参加のためのインセンティブ導入方法に関する研究(東京大学)
- ⑦ 劣化抑止プログラムと国際・国内現行法との整合性および問題点の検証(上智大学)
- ⑧ エコシステムアプローチからみた森林劣化抑止プログラムの検証(岩手大学)

6. 研究のイメージ

D-1005 「生態系サービスからみた森林劣化抑止プログラム（REDD）の改良提案とその実証研究」



[図-1] 研究の概念



[図-2.] サブテーマ間の関連性